

ただいま、

重要文化財
是川遺跡出土品を

修理しています

八戸市では、重要文化財「青森県是川遺跡出土品」を美しく
安定した状態で後世に伝えるため、保存修理を行っています。



せきぶ 元
石斧柄
(平成 29 年度修理)
…欠損・亀裂補修



せきとう
石刀
(平成 25 年度修理)
…亀裂を補修



うでわ
腕輪
(令和 2 年度修理)
…表面を強化



たいつきど き
台付土器
(令和 2 年度修理)
…亀裂を補修



つぼがたど き
壺形土器
(平成 29 年度修理)
…下半分を復元



あさぼちがたど き
浅鉢形土器
(平成 30 年度修理)
…亀裂を補修



もくたいしっ き
木胎漆器
(平成 25 年度修理)
…欠損部を補う

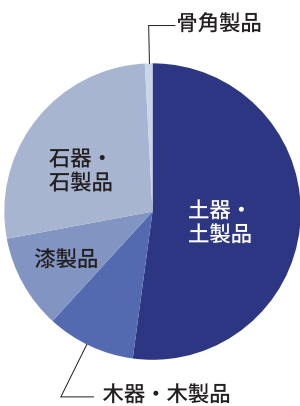
修理が完了した出土品

これかわ いせき
 是川遺跡のうち、縄文時代晩期を中心とする
 なかい いせき いずみやまいわじろう あやじろう
 中居遺跡は、泉山岩次郎・斐次郎兄弟によって
 大正9(1920)年から発掘され、完全な形を保つ
 どき もつき もくせいひん うるせいひん
 た土器などとともに木器・木製品・漆製品など
 しょくぶつしついでつ しゅつど
 の植物質遺物が出土しました。

これらの出土品のうち、昭和37(1962)年に
 633点が重要文化財に指定されました。また、
 平成23(2011)年に、八戸市による平成5・11
 ～16年の発掘調査で出土した330点が追加指
 定され、重要文化財の数は963点となりました。

是川遺跡出土品は、現在是川縄文館で公開し
 ています。

青森県是川遺跡出土品 種類別内訳



土器・土製品	502点
木器・木製品	93点
漆製品	99点
石器・石製品	261点
骨角製品	8点
合計	963点

八戸市では現在、国庫補助金の交付を受け
 「(重文) 青森県是川遺跡出土品ほか美術工芸
 品保存修理事業」を進めています。

是川遺跡出土品の中には、欠損部や脆弱な
 部分があり、修理や補強を必要とするものが
 あります。特に漆製品や木製品は形状が変化
 しやすいため、適切な修理を行い、保存台を
 作成する必要がありました。

保存修理により、安全に展示公開すること
 が可能となりますが、後世に受け継ぐため、
 今後も経過観察を続けます。

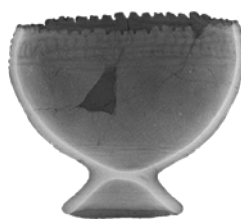


令和2年度の保存修理資料 (一部)

台付土器の保存修理工程



① 修理前の状態



② X線撮影により状態を確認



③ 接着剤や石膏を除去し、解体する



④ 歪みのないように組み立て、
樹脂で欠損部を成形



⑤ 樹脂で補った部分を彩色して完成